

# この人に聞きたい

## 第2回

安保 和徳さん  
(総務 展示担当)

図書館に関わる人にその思いを聞くコーナー第2回は、総務部門で展示を担当して2年になる、当館スタッフの安保和徳さんです。毎回様々な趣向で行われる図書館の展示について、「作り手側の思い」を聞きました。

### ——図書館に展示コーナーがあるのはなぜ？

図書館から様々な情報を発信するため、というのが理由の一つです。例えば、絵画・古文書・古地図のような普段は書庫に眠っている資料を表に出すことで、「図書館にはこんなものもあるんだ」ということを知ってもらえますよね。

また、マスコミに取り上げてもらうことで図書館をPRできるから、という理由もあります。どちらにしろ、図書館に展示コーナーがあるのは「お客様と資料をつなぐため」です。



### ——企画展のテーマはどのように決まるの？

基本的には岩手に関係のあるテーマを取り上げています。毎年、〇〇周年記念・生誕〇〇年など、節目になる出来事が何かしらありますからね。

それから、会場に設置しているアンケートもテーマ決定の参考にしていきますので、是非ご記入をお願いします。実現に向けて頑張らせていただきます！

### ——これまでの中で、反響が大きかった企画展は？

来場者数から考えると、原画展と手づくり絵本展が飛び抜けています。どちらも展示本来の“見て楽しむ”というスタイルですから、堅苦しくなく楽しめるんでしょうね。それから、展示資料目録の配布数からだと、岩手ゆかりの人物や歴史を扱った展示が人気のようです。

図書館では様々な展示を行っていますが、それらは各テーマの一側面を紹介しているに過ぎません。その中から自分なりの興味・関心を掘り起こし、各テーマを独自に追求する“きっかけ”にしていただければ嬉しいですね。

### ——市町村立図書館への「巡回展示」とは？

県立図書館の重要な仕事の一つである“市町村立図書館支援”の一環として行っています。また、「県立図書館に行くのは遠くて大変だ」という方に最寄りの図書館で展示をご覧いただけるようにするため、という面もあります。

企画展は、図書館4階展示コーナーで開催されています。是非ご来場お願いします。